

第6次府中市総合計画策定のための市民の意見を聴く会開催結果報告書

平成24年3月16日（金） 19時 ～ 21時

白糸台文化センター 講堂（参加者 3名）

区分	意見・要望
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の問題で、子どもの具合が悪いとき共働きだと、両親どちらかが子どもを引き取りに行かなくてはならない。若い家庭が子育てしやすいよう、待機児童も解消していただきたい。 ・老人問題について、あさひ苑では待機老人が200～300人程度いると聞いている。これを解消していただきたい。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却場の件、今はクリーンセンター多摩川があるが、それが老朽化する数十年先も見据え、焼却場について考え始めるべきである。 ・食料品の備蓄について、アレルギー対策をされているのか。東日本大震災においても、子どものアレルギー問題があったと聞いている。対応を考えていただきたい。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3年前に都市計画マスタープランを作成していたが、総合計画とどう関わるのか。 ・まちづくりの分野では総合計画と同じであり、同じようなことを聴くのではなく着実に実現して欲しい。 ・市には、狭い道が多い。消防車や救急車が通れない道が多いので解消していただきたい。 ・自転車の利用が注目されているが、自転車道路について、今後作っていく予定があるのか。旧甲州街道は車道を走るのが危険である。市としても考えるべきである。
行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員について、すべてではないが、若い方は対応が良いが、数名の中高年の接し方に不満がある。市のマイナスになるので、各部署でアンケート用紙などをおき、接遇への評価を聞くなど、改善できる仕組みがあっても良いのではないか。 ・市民の意見を聴く会への出席者が少ないこと自体が問題である。広報紙やチラシ回覧のみではなく、自治会を通して働きかけることも考えるべきである。 ・市の予算も減っていく中、どこまで総合計画に示す政策が出来るのか。平和島も厳しくなっていると聞いている。 ・財政的な問題を考えると、市議会議員の定数も考える必要がある。 ・市の自治会への依存度が高い。すべて自治会に依頼が来ている。昔に比べるとでる機会が多い。もう少し、考えてから頼んでいただきたい。

その他	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の建替え計画を策定したと思うが、どの程度進んでいるのか。計算方法によっては四谷まで立川断層がきているので、心配である。
-----	--

市役所北庁舎 第1、2、3会議室（参加者 5名）

区分	意見・要望
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の支援を受けて、子育て広場をはじめ3年になる。保険料などいろいろなコストがかかるが、3年を経過すると支援がなくなってしまう。この活動を継続していくには、受益者負担だけでは難しく、必要な活動については継続的に支援し、市として活動を育ててもらいたい。また、市にも同様の支援制度があるが、提出書類が多いらしく利用したことはない。 保育所になかなか入れないという状況が続いていると思うが、この点については解消をしてもらいたい。 少子高齢化の時代の中で、子供が増えるということは喜ばしいことであり、市にとっても良いことである。子育てのしやすさは、市の売りになると思うので、重点的に投資してもらいたい。子育ては、地域を巻き込んだ市民参加などにもつながると考える。第6次総合計画では、子育て支援を強く打出してもらいたい。 私は見守りボランティアをやっているが、学童クラブ、放課後子ども教室があるが縦割りになっている。確かに内容は違うが、同じようなことを行っており統合してやることで、地域の我々も入っていきやすい。 府中は、中学生まで医療費が無料の政策をとっているが、個人的には反対である。無料では無駄に医療サービスを受けてしまう。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> 府中市は、公園がたくさんあるが活かされていない。お年寄りのコミュニティになるよう、お年寄りが体を動かす遊具が置いてあると良い。 郷土の森が整備をされているが、木を100本切ったという話を聞いた。また、是政に新しい公園が整備されたが、誰もいない公園になっている。公園整備の際には、地域の人々の意見を聴きながら整備するなど、人を集めることをめざした整備をしてほしい。 公園に市民の憩いの場となるよう花壇をつくってもらいたい。1つの公園に1つの花壇「1公1壇」。市民花壇という制度はあるが、高齢者や若い方が参加できるボランティア主体の花壇をつくることで、高齢者の生き甲斐づくりにもつながると考える。 東京都には、「東京ふれあいロード・プログラム」というものがあり、市民が参加して清掃や花壇などをするプログラムがある。市もこのような取り組みを進めてもらいたい。意識を持ってまちづくりに取り組む場が必要である。

生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅付近の歩道の木が台風で倒れた際に、市役所に相談したが、マンションができたため整備はしない方針であるとの回答であった。個人で植えて良いのであれば、個人的に植えたいとも考えている。一旦整備は行うが、補充などは行わないということなのか。 ・郷土の森で木が切られたという話があったが、大きくなった木は30年で切らないと新しい芽が出ないということがあるようである。大きな木を適切に維持管理していくことが課題である。 ・是政に用水があるが水が流れていない。 ・用水に年間通水することが、子どもの教育によいと言われることもあり、安全性の問題や維持管理の問題も有ると思うが、個人的には年間通水してもらいたい。 ・ダストボックスの跡がコンクリートになっている。花壇を作れないか。花壇整備を許可してもらえれば、やりたい市民はいると思う。 ・自転車に乗る人のマナー向上が問題である。自転車に乗る人の教育が必要である。例えば、小学校できちんと教育すると良いのではないか。 ・ある国では一方通行にし、自転車が安全に通行できるようにしている国もあるようである。自転車の利用者は増えると思うので、自転車対策は重要である。
生活・環境 (防災)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災課に話を聞くと、府中市は多摩川が決壊した場合のことは考えていないとの話であった。もしそうなった場合の対策や連絡体制を整備してもらいたい。決壊でなくても、ダムが緊急放水することなどについて情報を伝える仕組みなどを整備してもらいたい。 ・地域コミュニティーでも防災体制がとれるようにしてもらいたい。 ・防災対策のためにも、小さなコミュニティーが重要である。 ・西府あたりには、行き止まりの道路が多くあり、防災上、危険である。私道が整備されているが、途中で塀が設けられており、通り抜けることができない。一方通行の狭い道も多い。西府から鎌倉街道に抜ける道は3本しかない。 ・開発にともなう危険性の高い地域をどうするのが課題である。 ・大規模マンションや都営住宅も敷地内を通り抜けできないなど、防災上問題がある。 ・道路に消火栓があるが、消火栓につなぐホースがどこにあるのか知らない人も多いと思う。また、消火栓の位置やホースの位置を明示しておくことが必要である。
文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・私のマンションでは、コミュニティカフェなど人が集まれる場をつくろうという話をしている。府中市はこれまで至れり尽くせりでやってきたが、これから先もこのサービスを継続することは難しいと考えている。本当の意味での市民が協働する、市民が自分たちでやっていくという意識をつくっていく必要がある。

- ・地域コミュニティは充実させていく必要がある。自治会に入っているが、色々な問題が出てきているものの、みんなで解決に向けての話合いをするまでには至らない。地域コミュニティを活性化して行くための施策を展開してもらいたい。
- ・文化センターは対象地域が広すぎる。ちょっとしたコミュニティの場があると望ましい。
- ・私は防災ステーションでお風呂に来ている高齢者の方と接する機会があるが、お風呂を利用している方がこられないときは心配になる。今は個人情報のあることもあり、連絡することができない。来ている人どうしがつながりをもてるような何か良い仕組みがあればよいと思う。
- ・自治会が高齢化しており、新住民とのコミュニケーションも難しい。地域包括支援センター連絡会に入っているが、自治会長がいらっしゃるが一緒に何かやろうと声かけしてもなかなか難しい。空き家などを利用して集える場を市を通して提供してもらえないか。
- ・やる気のある市民を育てていくという方向に転換してもらいたい。
- ・助成制度についても、自由度があると良い。色々なアイデアが浮かぶと考える。
- ・高齢化や役員をやりたくないなどの理由に自治会を抜けていく人がいる。私が属している自治会も昔と比べると半分程度になっている。体調の問題でやれない人は役員を免除するなどしていく必要がある。自治会としても考えて行く必要がある。
- ・女性センターで活動しているが、男女共同参画に関する予算が減らされる方向にある。なぜ男女共同参画の取り組みが必要なのかを伝えていく必要がある。施策名に「拡大」とあるが、拡大は難しくとも、少なくとも男女共同参画の考え方を理解できるようになることが必要である。
- ・学校の校庭の芝生化を進めているが、何年度までに整備する予定か。関連する工事と一緒にすれば、コストを抑えられるのではないか。芝生の管理は保護者や地域の人たちで対応できるのではないか。
- ・生涯学習活動の支援についてであるが、生涯学習のファシリテーター養成講座を受けたが、このような人材を育てていく必要がある。社会教育にも計画的に取り組んでもらいたい。
- ・総合型スポーツクラブというものがあるが、各体育館にそうゆう施設を持とうとしているのか。
- ・府中市で生まれた「ラリーテニス」は高齢者にも良いと思うので、全国展開がなされるとよい。府中市のPRにもつながる。
- ・平成18年に教育基本法が変わり、地域の人たちも学校に関与しなければならないというような方向性変わったようである。しかしながら、そのこと自体が地域に周知されていない。高齢者の方などが関与できると良いのでは。

文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが減ってきたときに、地域の人が教室を使えると良い。何かモデル的に学校開放の事例ができるとう良いのではないか。 ・青少年の健全育成であるが、子ども同士で話をできる居場所があるとよい。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・府中に 30 年住んでいるが、高層マンションが駅前に建ち、昔のイメージと変わってしまった。個人的には、高層マンションを建てるのはちょっと違うと思う。長期的なビジョンをもって整備してもらいたい。 ・段差のある歩道は減らしてもらえると良い。段差があるために、自転車と車が接触したという話を聞く。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂が無料であるが、100 円でも徴収できないか。受益者負担を求めるべきである。派閥ができてしまい、コミュニティーの活性化につながっていない。 ・中学生までの医療費無料についてはやり過ぎである。安いぐらいであれば良いが、無料は問題である。 ・無料でやっている施策について、再度見直ししてもらいたい。 ・割引はするにしても、無料は問題である。これからは受益者負担を求めるべきである。 ・今回の計画策定は、テーマ別の市民の声を聞いて計画を作るようであるが、前回は 85 名しか参加がない。市民の声をいかに集めるのかが重要であり、ここに力を注ぐべきである。 ・今回のパンフレットを見ても、どんな意見を出せばよいのか分からない。意見収集の方法を、より分かりやすくしてもらいたい。 ・パンフレットを各戸配布したり、図書館で直接配布して意見を集めるなど、熱意を持って意見を集めるべきである。 ・本日も参加者数が非常に少ない。広報広聴活動に力を入れてもらいたい。 ・どうして府中市民は、市政に関心が薄いのかを考えていたが、府中市は経済成長に合わせて、市がどんどんサービスを提供してきた。市民アンケートを見ても満足度が高いから意見がないと思う。 ・今後は市民の意識も変えていけないと考える。土壌的なこともあるが、市としてもより参加してもらえるよう努力する必要がある。府中市は説明が不足しており、稲城市の方がよく説明をしている。 ・計画書をつくるのがゴールではなく、具体的な行動として花壇をつくるなどのアクションがゴールである。緑豊かなまちにするとされるよりも、具体的なアクションが示されていると良い。 ・今後は予算が厳しいと考えられるなかで、協働が重要になってくる。自分たちがこのまちを良くするんだと思えるように仕向けてもらいたい。

住吉文化センター 講堂（参加者 10名）

区分	意見・要望
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・中河原駅の鎌倉街道の歩道橋を高齢者・障害者が利用しやすいようにエレベーターを設置するなどしてもらいたい。 ・福祉費は削減してもらいたくない。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょこっと共済」が多摩川沿いの道での自転車事故に適用になるか調べてもらいたい。 ・各文化センターは大規模災害発生時の2次避難所となっているが、要援護者を受け入れるためには一次避難所よりも設備・備品・職員の配置を充実させてもらいたい。また現状について市民に避難所の状態について知らせてもらいたい。 ・「人に優しい」という視点は大切。 ・震災時に小学校の子どもたちを親が引き取るということになっているが、すべての親が対応できるわけではなく、現実とあっていないのではないか。 ・現在の教職員数で子どもを守れるのか、地域も高齢化しており、災害時の対応の体制について考える必要がある。 ・日中は高齢者が街を見守っている。 ・地域との連携、企業との連携が大切。 ・避難場所は地区別に想定されているが実際に集まったことはない。実際に集まった時にどうなるのか、どのような対策を打てるのか考えておくべき。 ・防災倉庫を管理するのも行政だけではできない、学校に任せるということでもなく、地域が協力して管理すべき。 ・想定外の事への対応を考え、早急に対策すべき。 ・避難所となっている文化センターも24時間対応はできない。現実的に対応できる方法を考えなければならない。 ・地域の企業や自治会組織、社会福祉協議会、NPO、地域の活動団体などと、災害時の連携協定を結ぶなど連携を協議する場をつくるべき。 ・38年前の大洪水の記憶もあり大震災のときに多摩川の堤防の決壊がとても気になる。 ・立川断層の地震が発生した際なども、避難に伴う人災が発生しないように対策しておくべき。 ・災害時はまずは自助、そしてその先には公助が必要。 ・地域の人にしかわからない地域のこと（（開発などにより）今の街の中に隠れてしまっている危険など）があるので、そのような情報の共有が必要である。

- ・自転車の交通規制はあるが、ウォーキングの環境は依然として危険な状態となっている。
- ・規制の看板やサインはあるが自転車に乗っている人たちは見ていない。
- ・バーベキューの広場前で子どもなども横断するような場所でもスピードを出している自転車もある。
- ・自転車と歩行者の通行をしっかりと分離してもらいたい。
- ・（多摩川の堤防は）歩くのが楽しみだが、自転車と歩行者が分離してあり良いことだが、途中までしかなく（四谷橋まではない）、今でも衝突事故が起こっている。
- ・いつも歩いている人はルールを守るが、遠くから来る人はルールを守ってくれない。
- ・遠くから来る人への意識付けも大切。
- ・基本的なルールが守られていないのが怖い。注意しても聞かない。
- ・（関戸橋付近）自転車同士の衝突があり危険なので規制を市に依頼したが、道路法上の道路ではないので対応できないとの回答であった。
- ・多摩川沿いを歩いていて怪我をして市に問い合わせたが対応できないとの回答であった。
- ・自転車事故は交通災害の対象にはならないのか？（ちょこっと共済）
- ・多くの人が利用する通路は、道路交通法が適用されないのだろうか？
- ・一般の市民では知りえないことは多いので、行政は調べることでくらはするべき。
- ・地域防災とあるが、地域に任せてもらったほうが良いのではないか。
- ・市の防災対策は、あればかえって害になってしまうような気もする。市がやるのではなく、地域の活動を支援する形のほうが良い。
- ・学校の場所と避難場所が離れてしまっている状況があるように、市の防災対策が大きな間違いをしていることもある。
- ・地域のことを知るのは市民であり、災害の予知はできない中で、行政の役割は「防災」よりもむしろ復旧対策ではないか。
- ・行政と地域でマッチできるかどうか、復旧の速度を決めるのではないか。
- ・チェック機能を高めることを検討するべきではないか。
- ・災害への予備知識はそれぞれが持ち合わせている。
- ・災害が起きたその後のことを重点的に考える場作りが必要なのではないか。
- ・防災倉庫を公園につくりたい、しかし公園はそのような場所ではないと言う規制がある。
- ・行政がかかると規制が増える。
- ・市の責任は看板さえ立てておけば避けられるのか。
- ・公園でキャッチボールを禁止するなど、何のための場所かわからなくなっている。
- ・公園の管理ひとつとっても、お金がかかってできないのなら地域にお茶代でも払って頼んだほうが良い。

<p>生活・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の緑の基本計画策定の際、公園緑地課の案が、「量の確保は難しいので質を確保する」というものであったが、質を確保するための具体的な計画は結局なかった。 ・市内の緑地 700ha のうち 200ha が多摩川の緑地である。 ・府中は公園緑地が多く、恵まれていると思う。 ・今のこの環境を守っていくことが大切である。 ・NPO「環境市民の会」を立ち上げた。
<p>都市基盤・産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法は全体を見た場合の計画であり、地域に密着した計画にはなりえない。
<p>行財政運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念がしっかりしてなければならない。これがないとまとまるものもまとまらない。 ・市民の意見を聴く会などの取り組みを進めていく、啓発していくのが行政の役割ではないか。 ・普段からの啓発が足りないから今回の会議も出席者が少ないのではないか。 ・「障害者」という表現はよくない。生活の一部が不自由なだけなので不適切。その他の内容も含め本質をよく考えた書き方をすべき。 ・基本理念となる「市民に円滑に生活してもらおう」ということをもっとよく考えてもらいたい。 ・「人が人として生活するために何が必要か」行政がこの点をどう考えているのか基本理念をしっかりと示してもらいたい。 ・国の方針をたださなければ直らない部分もあると考える。 ・（計画は）文章化してしまうと難しく取っ付きにくくなる。「楽しい」などもっと読みやすい表現が重要。 ・情報が伝わりにくい。受け取り手の立場に立って、取っ付きやすいものとしてもらいたい。 ・府中市は今も住みやすい街だと思うので、今の状態を悪くしないと言うことが大切。 ・市民と行政の関係は隔たりがある。市役所と市民は一体化すべきである。 ・市民どうしの連携が大切。 ・府中市民は街づくりに対する関心が薄いのではないか。「総合計画」などと聞くと難しく参加しにくくなる。 ・話してみればいろいろな意見が出るし、そのようなことは大切である。市民が参加しやすくなる雰囲気づくりが何より大切。

<p>行 財 政 運 営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見知らぬ人どうしても、食べながらだとなぜだか話が弾む。こういうことは大切なのではないか。 ・「場づくり」はとても大切である。 ・出された意見を大事にするということが大切。 ・市民からさまざまな意見が出されたとき市はどう対応するのか。 ・市長への意見を出してもあたり障りのない意見しか帰ってこない。市長には前向きな意見を示してもらいたい。 ・複数の課で対応すべき問題もあるので、市民の意見をワンストップで処理できる体制が必要。 ・市民生活を安全にかつ滞りなく整えるのは行政の責任ではないか。 ・行政には横のつながりがなく、直接対応した窓口の人間しか問題の発生と言う事実を知りえない状況。 ・市民窓口で、融資制度等の採択基準を3千円下回っただけで一切受け付けてもらえない。 ・全体よりももっと地域に入り込んだ部分の事情をどうくみ上げるのか、計画には示しきれていないもの、市民にしか知りえないことがあることを認識すべき。 ・パンフレット(第5次後期基本計画概要版)の中に何か新しい取り組みはあるのか?市民には見えないだけなのか?市はわかっているのか? ・(他の県庁所在地と比べ)府中は恵まれている。 ・行政に対応してもらおうことはたくさんあると思うが、府中は恵まれている。
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎も耐用年数が過ぎていると思うが、どのように対応する計画となっているのか。 ・これまでの総合計画の実績を知りたい。 ・散弾銃の弾が散乱していたことがあり警察に行ったが、部署が違うという縦割りの対応をされた。

平成24年3月17日(土) 14時 ~ 16時

是政文化センター 講堂(参加者 4名)

区分	意見・要望
<p>健 康 ・ 福 祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市で土地を提供している病院(榊原記念病院)なのに、市民にとっての恩恵がない。稲城市では市民優先の対応があると聞いている。 ・せめて診療科目を増やしてもらえればいいと思うのだが。 ・市内の救急だけでもしっかりと対応してもらいたい。

健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で救急の対応ができず結局稲城に搬送されているような状況となっているのは問題。 ・高齢者がいつまでも生き生きと暮らせるように、各種団体との連携に重点を置いてもらいたい。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の問題などもあるが、防犯カメラの設置は抑止効果もあるので考えてみても良いのではないかと。市としては何か考えはあるのか。 ・個人の財産が侵害されているので市で対応しても良いのではないかと。 ・管理者は市であるのだから、何か対応を求めたくなる。 ・ダストボックスはなくなってよかった。以前ダストボックスがあった頃は不法投棄する人から脅迫されたりもした。 ・市の防犯灯の電気料金は誰が払っているのか。 ・LED化はしないのか。 ・二枚橋焼却場整備についてなぜ府中市は反対しないのか。市は中立の立場だそうだが、調布が反対しなくなったら復活するのではないかと心配している。 ・反対が決まった場合、あそこの土地をどのように活用する予定か。 ・小金井と一緒にになって再稼働と言う可能性はなかったのか。
文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・新住民が5万人以上増えている。市民意識の低い街になってきたような気がする。子ども、中高生、その親世代が新住民だと思うが、街の一員になっていないような気がする。 ・教育面の活動をしているが、教育委員会の壁があるなど、取り組み面の苦労もある。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・旧米軍基地跡地の活用について国家公務員住宅の計画が白紙になり、市から出している利用計画では業務商業系ゾーンということで考えているようだが、住宅や払い下げしてマンションにするなどの計画はないのか。 ・防犯や地域商店街への影響が気になる。 ・東京外国語大学ができ、その裏には都立武蔵野の森公園があるが、深夜も開放されているため不審者が出るなど防犯上の不安がある。 ・商業施設を整備するとさらに夜間の防犯上の問題が発生することが懸念される。国が決めることなのだと思うが市としても意見できないのか。 ・大規模な開発の際に公園の設置義務があると思うが、それが徘徊場所を増やすことになるので良くない。 ・運用の仕方については考えなければいけない。 ・外国語大学、警察大学の整備ときは樹木を残していたが、今回は切ってしまうようだが。

<p>都市 基盤 ・ 産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の東側は防犯上良くないと感じているが、市として何か対策はとれないか。 ・今の交番の数ではカバーしきれないのではないか。 ・都立公園（調布飛行場のまわりなど）の周辺住民は深夜徘徊者などの不安や騒音の問題が非常に大きい。 ・都に問い合わせた人もいるが、開放公園なので仕方がない、夜間警備の予算もないという消極的な対応だった。 ・夏場に計画停電があったが、不審者侵入の不安や騒音のために窓も開けられない状態。 ・二子玉川の河川敷の問題と似ていると感じる。川崎は有料、狛江は禁止と言う状況なので、今後府中にも影響が及ぶことは心配している。 ・生涯学習センターの施設が破損していたり、節電で使用しにくくなっていたりしていた。費用の問題はあると思うが、施設の管理はしっかりとしてもらいたい。高齢者にも使いやすい施設設備の整備も必要。（トイレの洋式化など。） ・府中駅前の第一地区は一向に進んでいないが、どうなっているのか。強力に進めてもらいたい。 ・検討会議の中では観光を進めたいと言う意見もあるが、そのためには相当な財源が必要になる。市民のためのものとして考えるのは良いと思う。 ・学習センターの宿泊施設はいらないのではないか。利用制約が厳しく使いにくい。宿泊機能をなくして別の利用方法を考えたほうが有効ではないか。 ・温水プール、郷土の森などは利用者を調べたら半分くらいは市外の人だと思うが、そのような中で機能が重複している施設を保有し続けるのは良くないのではないか。 <p><墓地問題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画とは関係ないが、「噂の東京マガジン」で市の職員が別の見解を示してしまったような、恥ずかしいことはしないでもらいたい。
<p>行政 財政 運 営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業は電気関係が多く、今後厳しくなることが予想され、税収を確保するためには企業を支えるように市民が協力したほうが財政上は観光よりも良いように感じる。財源確保について市はどのように考えているのか。 ・再開発のエリアに庁舎を移動したらどうなのか？ ・企業と連携して見学コースを作るなどの観光もあるのではないか。史跡と企業見学、平和島、競馬場などもセットにしても良いと思う。 ・平和島の経営状況はどうか。 ・一つ一つの施策がすべての問題にかかわっているのので、市役所も縦割りにならないようにしてもらいたい。

行 財 政 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・市民検討会議は流れ（構成）がつくられてしまっているように感じる。 ・都市基盤と産業に防災が入っていないので、都市基盤の中に含ませるのか、それとも、全体として取り上げるかという議論になったが、「防災」としてひとつ立ち上げることを提案させてもらっている。これが今後どのように扱われるか関心を持っている。 ・7月までの短期間でまとめ切れるのか。 ・都市基盤を議論しているメンバーの中では公園緑地を増やしていこうという感覚が強い。
-----------------------	---

新町文化センター 講堂（参加者 5名）

区分	意 見 ・ 要 望
健 康 ・ 福 祉	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護を受けている人が2万人を超えていると聞いている。大阪では、生活保護者の認定について、市の職員の調査が十分ではない、市議会議員の圧力があるなどが、生活保護者が増えている原因とも言われている。働ける状態なのに働かない受給者もいるように見える。認定後のフローアップが必要である。 ・生活保護世帯は、ゴミ袋を市から無償支給されている。実際、私の知っている世帯のゴミの出し方を見ると、ゴミ減量の意識が無いように感じてしまう。 ・府中市は、福祉政策が手厚く、福祉に偏ってしまっていると感じる。 ・生活保護について、認定期間の設定や認定のガイドラインについて、市として考えた方が良い。 ・扶助費のトレンドをみて、市議会議員などから改善する提案はないか。 ・生活保護の支給について、受給することで働く意欲が無くなっていくような仕組みではなく、働く意欲が出てくる仕組みを考えていただきたい。働いている人との間で、公平・公正な仕組みが必要である。 ・高度経済成長を経験し、人間が贅沢になってきている。このあたりで公共サービスの水準や、様々な基準について見直すべきである。 ・立川市で高齢者の孤独死がニュースになった。新町は24%、栄町26%近い高齢化率である。府中で起こらないとは限らない。町内会と地域包括支援センターの要支援体制は出来ているが、これを小地域で即対応できるような取組みへと発展させる必要がある。 ・数年前に町会長をした時、民生委員に、一人暮らし高齢者リストの問合せをしたが、プライバシーの問題で出てこない。町会長ぐらいまでは教えて欲しい。 ・これからの時代、プライバシーの保護など、原則は分かるが、ある程度の拡大解釈も必要だと思う。

健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童について、2歳未満児の割合が多いと聞いている。それにもかかわらず、0歳は受け入れず1歳以上だけを受け入れる保育園があると聞いている。 ・幼保一元化の取組みが進められると聞いているが、それがあると待機児童の減少にも寄与するのではないか。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・正月に飾り物をするが、それをゴミに出すのは問題だと思う。文化センターで一括集めて、どんど焼きに出したらどうだろうか。 ・小金井では野菜クズ、学校の残飯を肥料にして、市民に配っている。府中市では、堆肥化する機械の購入費用を補助しているらしいが、一般の市民は、肥料は利用しないので、小金井を見習うべきである。 ・生ゴミ用の袋をつくって、分別を徹底し、それを肥料にすることを考えてはどうか。 ・生ゴミの処理などは農工大の先生に投げかけるなど、市内大学が府中市の課題解決策を導くような取組みを進めてはどうか。 ・多摩川の焼却場は周辺市と共同で利用している。小金井の件もあり、府中市独自の焼却場を持つことも考えた方が良い。場所の確保なども検討した方が良い。 ・効率面で考えると、現在のように大規模焼却場の方が良いと思う。 ・焼却処理場について、広域で熱量を確保した方が、排気も安全であり効率的だと考える。 ・マンション化などで緑が減ってきているように思われる。府中は緑が多いとは思えない。 ・少年院の跡地、アジ研跡地など、買い取って緑地・公園にしても良いのではないか。 ・斎場の運営について、西部地区にも作る予定が聞こえているが、無理に作る必要はないと思う。 ・東八道路の武蔵野線のアンダー部分の電灯が、常についている。明るいときは電灯が消えるシステムにするべきである。 ・自治会もなかなか機能していない。地域で清掃活動などを呼びかけても、市役所へ任せればよいと言う声もある。市から自治会へ自分達でやるべきことはやるよう、メッセージを発信していただきたい。 ・海外では、自転車、歩行者、自動車の信号が別々になっているところもあるようである。東八道路は自転車のスピードが危険である。比較的幅があるので、自転車を分離できないか。 ・多摩川の河川敷は、道路ではないと言うが、自転車が危険である。大きな事故があった場合にどうするのか。問題が大きくならないうちに対処策を考えた方がよい。

文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの問題は、地域で複数の人達が協力し、気長に根気よくやらないといけない。直ぐに答えが出るものではないので、毎日毎日の中で、一人ひとりが根気よく取り組む必要がある。 ・文化センターの風呂について、無料は問題だと思う。是非シミュレーションを行い、25万人市民に役に立っているか再検討する時期だと思う。 ・文化センターの風呂に費やしているコストをシミュレーションし、市民や利用者一人あたりの負担額など、分かりやすい形で市民に問いかけるべきである。そこから議論していくと良い。 ・自助・共助・公助の関係性を、しっかりと考えて取組まないといけない。これからの時代は過去の右肩上がり時代ではないので、直すところは直すべきである。 ・すべてのことは、人間を基本に考えていただきたい。小さいころから、人のことを考えられ、常識ある社会人として育つ教育も総合計画に盛り込んでいただきたい。 ・せっかく芸術劇場、美術館があるので、近隣の小中学校以外も鑑賞するような取組みをお願いしたい。日本文化を涵養する教育を期待する。 ・天神町にマンションが建設されるようであるが、六小がパンクするのではないかな。市は、将来人口をどの様に考えているのか。 ・東京都全体として世帯人員が2人を割ったので、将来的には人口が減少するのは確実と思う。 ・東京外国語大学、東京農工大学という立派な大学があるので、高齢者の学習の場にするなどにより、外の人を呼ぶことも出来るのではないかな。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・東八道路は、将来的には幹線道路になると思うので、地域のまちなりのあり方、お年寄り、子ども達、障害者も考えた上でハードを備えていただきたい。 ・東八道路は公共バスのルートが無い。バスを通すことはできないのか。 ・狭隘道路については、簡単に拡張は難しい。災害時には、配水管を消火活動に使える仕組みを広げていただきたい。 ・人口減少、税収減少が進むなか、観光による活性化も考える必要がある。 ・開催日以外の府中競馬場、サントリー工場など、それぞれの資源の価値はあると思うので、それらを結びつける工夫があってもいいのではないかな。 ・市として観光やイベントは、それなりに行っていると思う。観光協会などが取組んでいると思うが、情報の提供や観光資源の有効活用について、旅行会社の社員をヘッドハンディングするなど、外部の知恵を反映する取り組みも必要である。 ・人口減少時代になると、都市間競争が激しくなると思われる。選ばれる市となるため、市の魅力向上を考えているか。 ・電線の地中化が難しいと思うが、電力と電話とで共同柱にして、狭い道を少しでも広げるよう行政指導していただきたい。

行 財 政 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・広報について、広報紙やケーブルテレビがあるが、各町内に一つ程度は広報掲示板を設定するように工夫していただきたい。密集市街地では、市からポスターを配布されても貼れる場所が無い。 ・比較的開発が新しい地区は、ダストボックス用の用地が確保されている。その跡地を、地域で市広報や地域広報などの掲示場所として活用する場合、資金面で支援する取組みも必要である。
-----------------------	--

武蔵台文化センター 講堂（参加者 5名）

区分	意見・要望
健 康 ・ 福 祉	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の表記の中で、障害者という表記に“害”を使わないでほしい。「平仮名の“がい”」か「石への“碍”」を使ってもらいたい。 ・他県に住む親が認知症になりグループホームなどを探すときに市に相談をしたが、在住市民でも待っているため、他市からでは優先順位が低くなり、実際には介護サービスを受けられないという説明を受けた。都の住宅も3年間都内に住まない借りられない。介護が必要な親を呼ぶことができない状況は他も発生していると思うが問題であると考えます。 ・他市からの高齢者の転入の問題は、優先順位から回ってこないという話であったと思うが、どの辺まで受け入れるのかを考えていく必要がある。ずっと住んでいる市民、家族が府中市民、全く住んでいない人などの区分が考えられ、この点を考えていかなければならない。 ・在宅介護をするためには親子関係でみていくものであるが、現状では親をみたいという気持ちがあるにもかかわらずそれが阻まれている。 ・保育園にも似た話がある。保育園を整備すると、他市から転入してくる現象が生じている。住みやすい府中を守るためにも、周りの市に働きかけて、他市のサービス水準を上げることを働きかけ、市への流入に歯止めをかけていくことも考えられる。今のままだと、府中市にどんどん流入が生じて対応できなくなることが懸念される。 ・震災の際に、電気が止まったために、人工透析や人工呼吸器が使えなくなり亡くなった方もたくさんいると思う。 ・寝たきりなど動けない方をどうするのかを考えていかなければならない。
生 活 ・ 環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町の墓地の問題がある。このような問題が起こらないような法整備を進めてほしい。 ・府中市の4~5%の土地が墓地になっている。市として墓地にどういう考えを持っているのかを明確にしてほしい。

生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町に引っ越してきて1年になる。今問題となっている墓地付近に住んでいる。今回の墓地問題をいろいろ考えると、まず交通の問題、犯罪の問題が心配である。防災拠点として、七小があるが遠すぎる。墓地用地を防災拠点として市で利用できないか。 ・これ以上墓地を増やすと、固定資産税がマイナスになると考えられ、市として墓地問題に強い方向で検討してもらいたい。 ・広域の防災について市としてどう考えているのか。 ・府中市はいい街であり、今後もいい街であり続けるために、墓地用地を防災用地や福祉用地として活用いただきたい。 ・東日本大震災を受けて、防災機能をどうするのか。第6次総合計画では、これまで以上に防災に関する書き込みや体制整備が必要である。 ・防災課に話を聞くと、3日間は行政は手を出せないと思ってくださいと言われていいる。水と食糧備蓄は市民の3割に対して3日分用意できているとのこと。市のできることはここまでであり、市民が自分自身でやることはここなど、市民が防災対策をとれるようにするために、どのように広報していくのが課題である。次の計画は、広報戦略を重視していく必要があると考える。 ・震災で問題となるは食糧だけでなく、薬の問題がある。東日本大震災でなくなられた方の一部は、薬が切れたために亡くなった。家庭への薬の備蓄や薬業者に協力をお願いしていくなども防災計画として盛り込んでいくことが必要である。 ・水害についてももう少し考える必要がある。例えば、防災倉庫が地域で一番低いところにある。こういった点については防災計画で検討することであろうが、上位計画として何か誘導できないか。
文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習についてであるが、障害のある方も参加できるような生涯教育が必要である。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢丹府中店が計画期間中に20年の契約期間を迎える。伊勢丹が撤退することになれば、市としても大きなダメージを受けると考えられる。今から市として、市民としてできる応援が必要ではないか。「にぎわいのあるまちづくり」、市中心部の活性化について考えてもらいたい。 ・郷土の森の横で今年の3月から物産館を開設しているが、予定通りに進んでいない(売れていない)。農業振興にもつながるものであり、どう活性化しているのが課題である。 ・浅間町の国立衛生研・国家公務員の宿舎の計画が無期延期や中止になっているようであるが、どのように対応していくのかという方針をつくっていく必要がある。

都市 基盤 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町で墓地問題が発生しているが、七小通りは通学路であるが道路は非常に狭く、とても危険である。自治会でも交通整理をするなど、地域で治安を守ってきた。富士見通りも南側にしか歩道がなく、同様である。自転車、歩行者、乳母車などが混在し、事故がよく起こっている。墓地の出入口が交通量の多い交差点付近にあり、危険な箇所に墓地が建設されようとしている。 ・墓地整備を止めることができないのであれば、危険性が高まることに対して考えていくことがまちづくりであると思う。交通安全、防犯の面でも墓地になることで危険性が高まると考えられる。例えば、墓地予定地を市が買収して防災拠点にするなどが考えられないか。 ・総合医療センターが整備されたが、センターに近い西原町に患者さんなどが移り住んできている。弱者に対して優しいまちとなるためには、墓地が整備されるなら、歩道を広くするなど問題が起こる前の対応を取ってもらいたい。 ・立川断層のこともあり、防災拠点が必要である。 ・西府町の東西通路は行き止まりが多い。人や車が入ってくることを防止するためにそのようにしているかもしれないが、防災の観点からすると行き止まりは問題である。災害時に逃げることができない。また、消防車も通ることができない。市営住宅の建替えにより、道路が変わることを期待している。
行 財 政 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・広報のことだが、今回言ったことに対するフィードバックがあることを期待する。フィードバックがあれば、市民が多く会議などに出てくると考える。会議に出たけど、なにも反映されなければ市民は出てこない。 ・総合計画はどうしても具体的な書き込みができないものであるが、予算説明の際に総合計画にあるこの事業を行っているという説明をしていけばよいのではないか。個別計画に対して、総合計画を踏まえた記述にするよう関係性を整理したらどうか。 ・第5次と第6次の計画で変えなければならないのは、今後の厳しい財政状況を踏まえた書き方に変えていく必要がある。基本的な前提条件である収入についてきちんと書き込んでいくことが必要である。 ・A地区の再開発事業、市庁舎の建替で300億円程度の支出が必要である。これらの支出をしても、これまでどおりサービスを提供することが可能かどうかについて、市民に説明してもらいたい。 ・市の政策判断を見ていると、他市と比べるとまだ大盤振る舞いを行っているように見える。今後は、どれだけ節減できるのかに気を配ってもらいたい。 ・四谷のNECの土地を市が買収する予定があると聞いているが、公園緑地が増える話なので市民としては良いが、NECの借金を府中市に付回すことにならないか心配している。優先順位ときちんとつけて、政策判断をしてもらいたい。

行 財 政 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の医療費が無料であるが、いくらかは負担してもらうべきである。負担を設けることで、必要性の低い受診や不要な投薬が減るなど、考え方も変わってくると考えられる。 ・これからは、市民ができることは市民ができるようにしなければならない。これまでは財政が豊かであったが、財政が厳しくなることが見込まれる中で、市民も相応の負担をしなければならないと考える。 ・市民が財政状況を踏まえて考えることができる雰囲気・環境を作っていく必要がある。 ・今回の市民の意見を聴く会の開催を知ったのは、昨日の18時である。回覧板が回されたのも16日からであり、もう少し早く案内すべきである。 ・市民は、情報があれば考えられるが、情報がないと考えることができない。協働・共創するためには、情報共有が不可欠である。 ・広報についてであるが、本日の意見をどう市民にフィードバックしていくのが課題である。5年前に参加した都市マスタープランに基づくまちづくりプランの検討の際にはインターネットで意見が公開されていた。今回も同様に公開してもらいたい。
-----------------------	--

紅葉丘文化センター 講堂（参加者 11名）

区分	意見・要望
健 康 ・ 福 祉	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年行われた東京都の熱中症対策について、毎週高齢者宅を訪問できなければ支給しないということで、地域が独自に行った。来年度は、東京都からの予算がないので取組みが決まっていないというが、地域の機運を盛り上げて継続しないのは問題である。 ・熱中症対策を進めた時、地域には「どこに誰がいるか分からないのに配れない」と言う意見もあったが、モノをもって高齢者宅を訪問し、コミュニケーションが図れるのは良いことだと思う。核家族化、老人世帯が増えるなか、自治会活動、コミュニティの関係をつくるためにも、地味な活動が重要であるので、行政の支援が止まらないように、補助を打ち切らないようにして欲しい。 ・個人情報保護に関係するのだと思うが、昔は市役所で居住者名の入った地図をコピーしてくれた。今はコピーをいただけないが、せめて町会長ぐらいには地図をいただきたい。それが無いと安否確認もできない。高齢者を大事にしていこうというのであれば、是非お願いしたい。 ・民生委員を増やして欲しい。頼りになるのは民生委員である。準民生委員でも良いので、頼めばやってくれる人もいると思う。

健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所で地図を購入し、町内会に配布することも考えていただきたい。 ・地域医療体制の整備、高齢者医療制度の普及と推進について、どのようなことを考えているのか。平成 22 年からホスピスを考える会を作って運動して、議会に請願を出している。市には診療所規模で良いので土地を貸していただけるようお願いしているが、市では特定の医者には貸せないという話があった。福祉も大切であるが医療も大切であると考えている。 ・友人が一人暮らしになったということで、杉並区にある緑風園という施設に入った。府中市には、その様な場合に、どの程度入る施設はあるのか。 ・ホスピスについて、今まで署名を集めて提出しているが、市からの回答がない。前市長へ直接話をしているが、ただ聞くだけで回答がない。調布市にはあるが、府中市には無いという状況である。 ・署名は、約 9100 名分提出して、市議会でも採択されているが、ホスピスについてまったく進行していない。 ・高齢者が入る施設は、府中には何箇所あるのか。 ・高齢者の孤独死が多くなっている。高齢の親と住んでいたが、市から一度も訪問を受けたことが無い。地区の住民とは、家族構成などの会話をしないのが通常である。この様な状態を踏まえ、是非真剣に議論し方向付けしていただきたい。 ・民生委員についても、地区の担当者は分からないし、気軽に話ができる関係は構築されていない。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区では、多磨参道の落ち葉の清掃の問題がある。いい環境を保全するために、市民と行政とが連携する仕組みをつくっていただきたい。 ・ゴミの減少化や資源化について、透明のプラスチックトレイの回収が、店によっては行われていない。また、トレイのシールが取り外し難いこともあり分別が進まない。行政として指導できないか。 ・ゴミの分別は、一人暮らしのアパート住民のマナーがよくない。市としても頻繁に啓発していただきたい。 ・道路を清掃していると空き缶などのゴミが多くある。収集しているが、回収日が金曜日しかなく、置き場に困っている。ボランティアが回収したゴミについて曜日を限定せず出せるようにしていただきたい。 ・十小が工事しており、今地震がおきたらどうするのか、周知していただきたい。今後、地域住民として体制もつくる必要があると考えているので、第 6 次総合計画のなかで市としても対応していただきたい。
文化・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・市民サークルに補助金がでていますが、予算が削減されてきている。高齢者がいきいきと活動しており、予算を削らないようにしていただきたい。

<p>都 市 基 盤 ・ 産 業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多磨参道の車道整備をしていただいたが、歩道は桜の根が張りレンガに凸凹ができ、横転しやすく、電動車椅子の通行には不向きである。歩道を改修していただきたい。 ・市長が地区に来たとき、府中駅の中心部の話のみをされていた。この地区の話を考えてきて、話しをしていただきたい。 ・紅葉丘地区には、人見街道の踏み切りの問題がある。それについて、市として考えていただきたい。 ・紅葉丘地区の街区割りは、明治時代と同じである。府中の中心部は開発が進められており、格差が出ていると思う。 ・多磨霊園ができてから開発され、立派な多磨参道ができた。沿道に石屋が並ぶ町は他には無い。そういった見方でこの地区を考えていただきたい。 ・第5次計画は府中駅南口開発に力を入れているようだが、第6次計画は人見街道に力を入れていただきたい。10年前と比べ人口も車も多くなっている。具体的にどうするかを示していただきたい。 ・人見街道の踏み切りは、車が接触するなど、へこんだり、タイヤのホイールカバーが落ちていたりしている。大きな事故が発生する前に、1.5mのセットバックを進めていただきたい。
<p>行 財 政 運 営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市と市民との対話が出来ないのが、今の実情だと思う。計画は良くできているが、具体的に対話できる仕組み・環境が必要である。 ・市民から受けた話の経過報告は重要である。そういったシステムが府中市はあるのか。うやむやにならぬようにしていただきたい。会議のための会議になっている。

片町文化センター 講堂（参加者 2名）

区分	意見・要望
<p>生 活 ・ 環 境</p>	<p>ケヤキ並木の遊歩道整備はいつごろ実施されるのか。</p>

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・イトーヨーカドー跡地の南側に商業施設はできるのか。 ・稲城の向陽台からモノレールが延伸される計画があるが、府中本町まで伸ばしてもらいたい。モノレールが通れば多摩市からも人が来る。 (現在はサントリーと卸売市場の間を通して立川に通す計画となっているはずだが、市川用水の上を通せば府中本町まで引けるのではないか。) ・京王線府中駅周辺ばかり整備しているので、本町の整備に力を入れてほしい。 ・新小金井街道ができると競馬の時でも甲州街道と府中街道の交差点が混まなくなるので早く整備してもらいたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の建替はいつ頃か、府中本町のイトーヨーカドー跡地はどうか。 ・市庁舎を高層化すれば土地は狭くても良いのではないか。 ・京王線はカーブしていることによる車輪の磨り減りだけでも年間1億円かかっている。 ・是政から立川へモノレールを通すのは反対。 ・多摩の中心は府中だったはず。中央線がないことで、廃れた。立川は交通を集約したことでうまくいっている。 ・本町は家康の時代から活用されていた土地。 ・神社のみこしを、ケヤキ並木を延長して甲州街道まで行っても2時間で戻ってこられる。

西府文化センター 講堂 (参加者 6名)

区分	意見・要望
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・水と緑に関心があるが、宅地化や工場進出などにより空き地がなくなった。府中崖線の斜面林を保全している。これは昭和50年に東京農工大の調査により自然度が高い樹林だと言うことで保全地区になっているが、40年経ってもどう保全しているのか方針がない。府中市で自然度が高いところは、斜面林と多摩川しかない。 ・昔は湧水もいろいろあったが、今はほとんどない。お灌湧水に市がお金を出して、100戸に浸透マスを整備し、効果が確認された。自然度がより高い西府湧水に浸透マスを整備してほしいと依頼しているが市からは返答もない。自然度が高い湧水・斜面林を守るためにお金を使ってもらいたい。 ・自然が残っているのが東郷寺の付近など限られている。湧水の周りは住宅で囲まれており、崖線の景観が崩れている。市として用地を購入してもらいたい。 ・昔から用水路が張り巡らされていたが、暗渠化されてしまった。水と緑の水とは、用水路、湧水のことをいっている。緑の基本計画で示されていることを是非実行してもらいたい。

<p>生活・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用水路の話があったが、府中用水の国立のエリアの私有地が売却されて、用水として無償提供されない可能性がでてきたという話を聞いた事がある。府中市の用水が使えなくなると農業をされている方が困ることになる。 ・私は、通年で用水が流れるよう、国立市や用水組合と話をしてもらいたいと市に伝えているが、担当者が変わるのでなかなか話が進まない。 ・谷保の関の水を本流ではなく、はけ側に流すなどのルールづくりが必要ではないか。この話をするには経済観光課が参加してもらいたい。
<p>生活・環境(防災)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、府中西高校の近くに住んでいるが、西高は都の施設であり、避難所になっていない。我々は高速道路を越えて日新小まで行かなければならない。都の施設であろうが、防災の観点からは、何とかしてもらいたい。 ・日本電気が避難地域に指定されているが、塀で囲まれており、どこから入ったらよいのか。正門まで回って入るのか？防災協定を結ぶ際には、どの門を開けるのかなど協定を結んでももらいたい。 ・市が自治会に介入することはできないと思うが、自治会で防災のことがほとんど議論されていない。自治会で地域防災について考えるためには、市の積極的な関与が必要である。
<p>文化・学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中は、歴史があり、古墳群も多く、そういうことを踏まえた活動が必要である。あちこちでイベントをやっているが、市として予算を付けもらいたい。くらやみ祭りも外部からの参加者が減っているようである。せっかくある財産を活かしたまちづくりを進めてもらいたい。 ・分梅町に八雲神社というものがあるが、登録文化財にしてもらえると地域の誇りにつながると思う。 ・郷土の森で11日にお祭りがあったが、村野四郎という作詞家の記念館があった。村野四郎は作曲も行っていて、「ぶんぶんぶんはちがとぶ」を作曲している。府中駅の発車ベルをこの曲にすると、和やかな曲なので良いのではないか。京王電鉄が行うことではあるが、市としてもバックアップしてもらいたい。 ・NECの事業所の中に一里塚がある。若松町にも一里塚があり、いずれも市の文化財となっている。日新町の5丁目の水再生センターの横にも一里塚がある。フェンスをして都市整備部で管理している。しかしながら、文化財に指定されていない。ふるさと文化財課に調べてもらいたいと伝えている。地元の人は一里塚であるといっているが、新しい市民は何の木か分からない。文化財指定できるようにお願いしたい。

文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・住吉町一丁目にある小野神社に、府中で一番古い石碑があると郷土の森の学芸員から聞いた。文化財としての価値もあるのではないか。市としてもお金をかけて、地図に落とし込んだり、PRするなどすれば、観光にもつながるのではないかと思う。 ・昔の国鉄時代の旧本宿駅の近くに板碑があるが、昔神社があったのではないか。 ・本宿交番の裏の常夜灯など、府中市にはいろいろな文化財がある。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・西府駅が整備された際に踏切が閉鎖されて不便になったとの声が多い。駅のエレベーターは、市が管理しているようであるが、自転車を乗せることができるよう改良できないか。 ・コミュニティバスの路線であるが、日新町は府中駅方面の路線がない。現在、区画整理を行っており、宅地が整備される見込みがあり、府中駅行きの路線を整備してもらいたい。 ・日新町は街区公園も基準に満たない状況である。街区公園を優先して整備してもらいたい。 ・府中基地跡地について、国立衛生研究所も来ない、国家公務員宿舎も中止となった中で、予定通り計画を進めるのか。緑の基本計画は、府中基地跡地を利用することを前提に計画しており、この点についてどう考えているのか。 ・道路網をなんとかしてもらいたい。西原町や北山町はどんどん宅地開発が進められている。西部地区は道路が不足しており、整備されないとどんな街になるのか不安である。 ・本宿町から西府町へ抜ける東西方向の道路を整備してもらいたい。この件は、まちづくり懇談会でも答申している。まだ畑であるので、宅地化される前に整備してもらいたい。 ・府中基地跡地についてであるが、市が三分の一を公園用地として買収するというのを聞いているが、農業公園にしたらどうか。農家と市民との交流もできると思う。特徴ある公園整備をしてもらいたい。 ・われわれの市民グループでは、都市農業を展開すべきと提案しているが、府中基地跡地ではなく、ハケ下や四谷など現在ある農地を使ったらどうかと考えている。府中基地跡地は、長期間放置された結果、自然林に近い状況になっており、自然林として残しておくことを市に提案している。 ・府中市における農業公園のあり方を検討してもらいたいと提案しているが、なかなか進まない。 ・大震災が何時来るか分からないので、避難場所として農地を残してもらいたいと考えている。

<p>都市基盤・産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の話が出たが、農地を残してもらいたが、私有地であるためどうしようもない現実がある。農地を残すためには、市が買い上げるしかない。 ・西府駅の北側が空き地になっているが、今後どうなるのか計画を周知してもらえると良い。近くに住んでいる市民はどうなるのかさっぱり分からない。地域の人の意見を組合に伝えるなど、協働で進めてもらいたい。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の内容が概括的な内容なので意見を出しにくい。 ・苦言であるが、市は意見を聞くが、なかなか実現してもらえない。2年ぐらいかけて、「地域別まちづくり懇談会」を行ったが、市長に答申したが実現されていない。意見を聞くのであれば実現してもらいたい。今回についても、意見の聞きっぱなしになってしまうことが懸念される。実現する方策を講じてもらいたい。 ・計画に具体性がない。 ・文化センターごとに市の担当を決めて、町内会の会議に参加してもらい、市政に反映してもらいたい。 ・本日も20～30人位参加者がいると思ったが、これだけの人数しかきていない。無関心な市民が増えている。 ・はっきりいってコミュニティが崩壊している。広報と文化センターでのチラシ経緯ではこの程度。市長が来て意見を聞くなど、やり方を変えていくべきである。 ・今日の意見は記録に残るのか？ ・審議会は、議員や学識経験者で固められているが、もっと市民を入れていくべきではないか。総合計画審議会条例も改定し、公募市民を多くすべきであると考える。 ・環境基本計画は、審議会メンバーと検討協議会のメンバーが同じであったが、今回の計画はそうっていない。今のシステムをかえなければならない。 ・地方自治法も改正されており、つくり方を変えていく必要がある。市民に責任を持たせないといけないと考える。 ・市長に何度も手紙を出したが、形だけの回答しかえられず、手紙を出すのも止めてしまった。 ・今日の会議は参加者が少なすぎると感じる。無関心な市民が増えているが、市民に関心を持たせるよう仕向けていくことが行政の役割である。 ・本日の意見はどのように公開されるのか。 ・聖蹟桜ヶ丘の「耳を澄ませば」、豊田の「たき火」が発車ベルとして使われていますので、よろしく願います。

押立文化センター 講堂（参加者 2名）

区分	意見・要望
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児情報・相談体制の充実をお願いしたい。 ・ 「くるる」で行っている取り組みなどを市民が知っているのか。 ・ 幼保についても府中市独自で対応できる部分があればお願いしたい。 ・ 特養の整備予定はあるか。在宅と言われても老老介護も増えており、充実してもらいたい。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの森など緑地整備の件。マナーの悪さに対する対策を考えてもらいたい。 ・ 3R、4Rの普及を充実させてもらいたい。 ・ 道路へのポイ捨ても多いので防止対策をお願いしたい。 ・ 災害時の乳幼児、高齢者の保護誘導策の充実をお願いしたい。 ・ 高齢化が進む中、生産緑地の維持について考えると、公園に転換するなど検討したほうが良いのではないか。 ・ 小河内ダムが仮に決壊した場合に府中市への影響はどうか。 ・ 都立府中東高校は避難場所になっていないが、敷地も広いので、都立ではあるが、避難場所として活用できるようにしてもらいたい。 ・ 災害時は京王線が踏み切りをすべて常時遮断するので、高架部分以外は南北方向の移動ができなくなる。 ・ 都市計画審議会のHPで押立町公園の南を買い増しして公共施設をつくるという計画が載っていたが、何をつくる予定なのか。 ・ 押立文化センターはいつ改修するのか。
文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設をもっと有効に活用してもらいたい。（子どもたちがもっと使いやすいように。） ・ 学校の活用で空き教室などの活用とあったが、学校は学校本来の活用方法をするべきではないか。仮に使う場合は入口をしっかりと分けるなどしなければいけない。安全管理の問題がある。 ・ どうしても空きがあるのであれば、防災物資の備蓄などをしたほうが良いのではないか。 ・ 南白糸台小学校の学童を学校の中に入れるわけにはいかないのか。
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉としての交通機関。昔は押立神社から生涯学習センターまでバスがあった（昔は260円）が南北路線が分かれて、今は無くなっており、乗り換えても生涯センターには行けないので、対応を検討してもらいたい。

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の交通レーンの件。甲州街道のバイパス付近は自転車レーンを走っていてもぶつかりそうになるので対策してほしい。 ・路線が長いと時間が不安定になると思うので、個人的には路線が短くなった今のほうが便利だが、生涯学習センターに行くのは不便かもしれない。 ・買い物に不便なので、商業施設が立地できるような用途地域も検討してほしい。 ・再開発ビルの市民活動拠点と言うのは具体的にどのような場か。他の事例を見るとあまり活用されておらず、特定の団体だけが利用しているような状況も見られる。 ・商店街の振興を考えると人を外から呼び込めるような施設を整備するべきではないか。 ・芸術劇場、美術館など集中している地域もあれば押立のように施設が無い地域もあるが。市としてはどのように考えているか。 ・東府中あたりの側道の整備はどのように考えているか。高架化しないのか。連続立体が望ましい。
行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の活用を勧めてもらいたい。能力のある人を引き出すような対応をお願いしたい。 ・検討協議会が公募だけで成り立っているのは危険ではないか。自治会、経済界、各種団体等住民を代表できる人選とすべきでは。 ・公募だと特定の事業への反対派が集まるなどする危険があると聞いているので心配している。 ・府中市のホームページに市政の資料が載っていない。会議の関係資料が掲載されていないので議論の内容がわからない。市議会も議事録以外資料の掲載が無い。 ・6次計画は5年とか10年ごとなどの長期計画とそれを分けた前期後期というような計画にはならないのか。 ・総合計画審議会は多様な人が参加しているのか。 ・審議会に市議が入っているのは違和感を感じる。議会はチェック機関であり、審議会は諮問機会であると思うが。 ・市政に関心があるがホームページが中心になるので情報の充実をお願いしたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の改修はいつ行うのか。 ・震災を考えると、庁舎はしっかりしたものをつくったほうがよいと思う。

市役所北庁舎 3階第1・2会議室（参加者 13名）

区分	意見・要望
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の人からは、府中市には多摩総合医療センターがあるから良いと言われるが、予約しても2～3時間待たされることになる。市民が気軽に、紹介状などが無くても行ける眼科・皮膚科、回復リハビリテーションなどもある総合病院が欲しい。 ・昔、市民病院ができるという話があったが、どうなったのか。 ・中央文化センターの医療センターに歯科医師会館などがあるが、市として建替える際に病院にしてはどうか。今は地元に住んでいない医者がほとんどで、夜間・休日に見てもらえないということがあるので、市内に総合的な病院があると良いと思う。 ・高齢化が進んでいるので、市役所の資料などは文字を大きく、またわかりやすく作成していただきたい。 ・現在の65歳以上人口は18%程度であるが、平成26年には22%を超えると思う。11万の全世帯の内、一人暮らしの世帯は4万世帯、二人暮らし世帯は2万7千世帯程度で、全てが高齢者世帯ではないが、多くを占めている。民生委員は173名であるが、高齢者対応だけではないので、数が足りないと思う。 ・民生委員の状況、地域の高齢者の問題など、市からの情報提供が少ない。提供があれば地域も協力できる。 ・東京都は、世帯人員2名を切ったと報道された。孤独死の問題は、他人に頼ることを善しとはしない年寄り側も問題があると思が、これを行政側が突破していただきたい。市だけではなく、自治会や民間と連携し、取組んでいただきたい。大震災の後、家族の絆、互助の意識が高まっているので、このタイミングをいかしていただきたい。 ・総合計画をつくる際に、ハード面が表に出てしまう。市有施設であればメンテナンスコストがかかる。ハードよりはソフトで市民の自主的な活動を促していく方向性を示していただきたい。 ・緊急通報システムを普及させるということであるが、市民に知らされていない。もっと周知するべきである。 ・待機児童の解消など、子どもの問題についても力を入れていただきたい。保育園の整備も必要だが、ソフト面も充実していただきたい。子育てを終えた経験者を活用してはどうか。

- ・自治会で、防犯パトロールの取組みに関して、警察関係の主催で研修会があった。研修時に防犯の話をされたが、地域で防犯パトロールをする際には、取り押さえて逮捕するようなことではなく、ゴミの投げ捨てや自転車の放置、防火などが中心になる。市として市民の安全を守る場合には、エリアとして問題を捉え、縦割りではなく取組んでいただきたい。その様な視点で総合計画をつくっていただきたい。
- ・家の周りに公園があるが、犯罪防止のためにも剪定は必要である。
- ・日常の実感として、甲州街道を信号待ちしていると車の青信号時間が長いが、高齢者が横断するには青時間は短い。警察と協力し、安全・安心と言うスローガンを実現していただきたい。
- ・44～45年前の府中市には、田畑が広がっていた。その情景を今でも忘れられない。自給自足の食生活ができる環境であった。今は便利すぎる。不便になっても昔の生活を見直すべきである。
- ・緑が豊かと言うが、多摩川周辺も木を切り、土をコンクリート化している。公園緑地課が考える業者のための緑化ではなく、里山の保全や、湧水をそのまま下水に捨てないなど、環境・緑に配慮していただきたい。
- ・防災対策の強化について、市役所から自治会、そこから家庭へと言う情報伝達のルールになっていると聞いた。市役所から一般市民へ、被災時に自治会が機能することを広報していただきたい。
- ・市として、マンションを建てる時は、自治会に入るように指導しているということ聞いた。公園が多いとメンテナンス費用がかかるので、町内会・自治会等住民の力を上手く活用するソフトの事業を工夫していただきたい。
- ・緑町では自治会とは別に、小回りが効く小さな町内会がある。公園掃除は、みんなが公園に集まることで、町内で顔見知りになる。そういった取組みが重要であり、市としてもそこに力を入れて欲しい。
- ・公園清掃への取組みなどは、自治会の事情によって異なる。私の自治会では、子供会を花壇づくりに巻き込むことで、その親達の参加を促している。地域で、自分達で何とかする知恵を働かせなくてはいけない。
- ・基本的に、最後は「自分」を見つめ直すことだと思う。そのためには、一定年齢以上の人達の教育が重要になり、能動的に動ける人を作ることが必要である。それが市役所の課題である。
- ・多くの犠牲を払った第二次世界大戦の敗戦は、私たちに自由と権利をもたらした。東日本大震災は、日本が世界に類を見ない良い国になるというのが、歴史的な成果になるのではないか。そのために、府中市も取組むべきである。

生活・環境

- ・押立公園の芝生が無くなり、表面が砂になっている。風が吹くと埃が舞って困っている。乾いたら水をまくなどしていただきたい。
- ・公園に以前は大きなゴミ箱があったが、それが撤去された。その理由が分からない。公園では、昼に弁当を食べる人も多く、ゴミが不法に投棄されている。不法投棄は誰が片付けているのか。
- ・市の公園は、基本的に市が清掃している。定期的に自治会もパトロールを行い、その中でゴミの収集など清掃もしている。公園は、市民と行政とが協力して清掃しなくてはならないし、災害時の第一避難場所、防火帯ともなるので、残していただきたい。
- ・公園のごみ箱のごみは、自治会で処分していたが、分別する手間が大変なので、私の自治会ではごみ箱を撤去した経緯がある。
- ・公園のごみは公縁緑地課、道路のゴミは道路課、他はごみ減量推進課、と言うように縦割りなので、何かあるとそれぞれに申請しなくてはならない。一箇所ですむようにしていただきたい。
- ・防災について、公共施設の耐震化、水・食糧の備蓄、被災時にも利用できるトイレについて考えていただきたい。
- ・備蓄量を増やす方向で考えられないか。
- ・防災基本計画では地域ごとに被災ランクの色分けがある。ランク3の地域には、その対応について自治会にしっかりと周知していただきたい。市民全員と言うことではなく、もう一步踏み込んで、自治会長までには周知・徹底していただきたい。
- ・災害時に市職員が徒歩・自転車で集合できるのか、携帯電話が使えない状況になるので、無線を予備も含めて用意していただきたい。
- ・私の住んでいる地区の小中学校では、年に一度炊き出しなどの訓練を行っている。実際に器具を使ってみたり、燃料の置き場を確認したりしている。器具は古いタイプのもので、使い勝手が悪く、簡単には使いこなせないなので、訓練で使い方を理解している人の名簿を備え付けている。器具については、そろそろ買換えてほしいが、それぞれの地域で、地域住民を巻き込む取組みが必要と考える。
- ・被災時に安否を確認できる笛の普及をしてはどうか。
- ・東日本大震災でも問題になったが、備蓄食糧について、アレルギー対策を行っていただきたい。

文化・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて市に頼るのではなく、地域、コミュニティを育成して、トータルな力で府中市をつくるという方針を示していただきたい。 ・自治会ごとにしっかりとまちづくりに取り組むように、市役所から強く言ってもいいのではないか。 ・自治会と言うのは何か、自治会とはどういう仕組みなのか。自治会費を支払っているが、餅つき大会費用など、良く分からないことに使われている。 ・市役所への届出によって、マンション管理組合が自治会を兼ねることもある。所属する自治会の規則などを確認されるのが良い。
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ちゅうバスについて、今の路線の時間帯を遅くするよりも、新しい路線を作れないか。なにより、税金使ってバス路線を整備する必要はあるのか。 ・ちゅうバスの収支を明らかにし、広報していただきたい。収支が分かると市民からも色々な意見があると思う。
行政・財政・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・便利帳は良いのだが、実際に問い合わせたい時に、どこが窓口か分からない。話をたらい回しにしないよう、ワンストップサービスを考えていただきたい。お客さん相談窓口があっても良いと思う。 ・役所内の制度、組織を改革する方が良いと思う。複雑になりすぎているので、簡素化していただきたい。 ・総合計画と言うものがあるというのは知らなかった。住民は分からない。広報の方法を工夫していただきたい。 ・この程度の人数であれば、事前に広報し、参加者を募り、計画書を送付していただければ、読み込んで質問を絞ってから参加できる。この様な会議を知らしめる努力が足りない。 ・本日の会議の進め方、検討テーマについて、広報の内容では事前には分からない。テーマを絞って、周知していただきたい。 ・参加者は、年配者が多い。若い方の意見も聞きたい。若い方も参加できる会議も開催するべきである。

四谷文化センター 講堂（参加者 9名）

区分	意見・要望
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守りネットワークは、形は整備されているが、今の組織は実行力がない。地域包括支援センターに福祉保健を丸投げ、民生委員は独自に動いている。自治会は自治会で動いており、連動していない。

健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会も健康な老人会メンバーのみを見ている。これらに漏れた寝たきり、一人暮らしの高齢者をフォローしてもらいたい。 ・要援護者の問題については、福祉保健部がプランを作成し、自治会にやってほしいとの話であるが、自治会にそのようなことを求められても困る。 ・自治会はボランティアである。自治会はパートナーであり、協働の体制に組み込まれるものである。そういう感覚が市にあるのか？市政を補うものとして自治体を位置付けていかなければならないと思う。 ・民生委員を選ぶときに、他市では自治会が推薦などを行っているが、府中市はそれもない。知らない人が民生委員になっている。具体的な地域の問題を解決するためには、自治会との連携が不可欠である。 ・高齢者対策について、在宅で高齢者を見ている人に対する支援ができないものか。介護が必要になったら施設に入れてしまうようなことではなく、これからは、自分の親はなるべく自分のうちで面倒を見るというような気持ちを啓発する意味において行政として何かできないか。 ・本来は民生委員がやるべき仕事を、自治会でやってもらいたいとの話がある。 ・四谷五丁目の民生委員は、他に地区の人が担当者になっている。
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化については、各世帯の緑化を言っているのか、どこをめざして緑化といっているのか分からない。地域の保存樹林もなくなってきている。人口を定めて緑化目標を定めないと実効性が伴わない。緑化目標を達成するために、用途地域ごとに植樹目標や公園整備を検討すべきである。 ・災害時の要援護者の支援は、災害の担当なのか、福祉の担当なのか分からない。 ・生活環境について、生ごみ対策が何もとられていない。ごみの大半は生ゴミであるが、堆肥づくりの体制整備ができていない。容器包装プラスチックの回収について、地域の商業者と体制を作って対応しなければならない。 ・四谷第3公園があるが、府中市のモデル公園として協働でどうすればよいのかを2年考えたが、やりっぱなしになっている。 ・「しもぎき緑地」が台風で木が倒れている。NPO の環境市民の会と地域のものでごみ拾いなどを行っている。NPO や地域活動により維持できているが、お金が出るわけでもない。水やりや防災にも寄与するので水道を整備するなど配慮してもらいたい。
生活・環境(防災)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制について、自主防災組織連絡委員会などがあるが有名無実である。防災問題について市民の関心が高まっている中で、共助が欠けている。自主防災組織を地域ごとに作らせ、市が援助をして避難訓練をさせるなどしなければならない。市が音頭をとって自主防災組織を再構築してもらいたい。

生活・環境 (防災)	<ul style="list-style-type: none"> ・私の地域には、大規模マンションが3つあるが、マンション内の自主防災組織も確立されていないし、地域の防災に関する取り組みにも出てこないなどの問題がある。こういったことに対する市からの指導もない。 ・防災減災について質問がある。耐震基準が見直された昭和56年の以前の家屋がどれくらいあるのか、どれくらいの耐震診断を受けているのか教えてもらい。 ・府中市には井戸があるとところが相当ある。そういったところを災害時に使えるようにしていくことが必要である。 ・防災について、以前は公園に逃げるという話があり、3月11日の東日本大震災の際に公園に避難したが誰もいない状態であった。私も日ごろ顔見知りの方の支援もできなかったことに後悔している。安全に向けた啓発活動が重要である。阪神大震災の直後は、自治会で避難訓練を行ったが最近は行われていない。 ・小河内ダムが決壊した際の話をしてもらったことがない。 ・防災課に何度も防災無線が聞こえないと伝えているが返事がない。聞きづらいところについては、携帯の安心安全メールに防災無線の情報が流れるようになった。この件のPRもなされていない。 ・市役所が危険であるという話を聞いているが、防災センターはどこにあるのか。安全な場所にあるのか。 ・防災計画を策定中のようなのであるが、詳細な土地の安全性調査を行っていないようである。 ・伊勢丹が撤退するかもしれないので、伊勢丹跡に市役所が入るということも考えられる。 ・防災無線のスピーカーの点検はどれくらいの頻度で行っているのか。反響が多く、何を言っているのか分からない。 ・自主防災組織をつくりなさいというのは良いが、自主防災倉庫に何が入っているのか分からない。発電機が入っているようであれば、定期点検をなささいなどのルールが必要である。市の倉庫は水や食料が入っていると思うが、自主防災組織に期待するのであれば、入れておくべき備品のルールを示したり、市で備品を提供するなどしてもらいたい。
文化・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を止めていく人たちがいる。自治会自体をどういう組織にするのかを考えなければならない。 ・生涯学習センターを指定管理者に移行することが決まっているようであるが、他市の状況などについて教えてもらいたい。指定管理者にするメリット・デメリットがあるが、本当に指定管理者が良いかどうか考えてもらいたい。

<p>都市 基盤 ・ 産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準工業地域は、工場の臭気や騒音などにより住環境が悪化している。事業者に苦情を出しても対応しないし、話合いの場も設けない。市は十分な指導も行わず、非常に不満である。我々は税収のための犠牲者ではない。なぜ用途地域を変更したか？もとに戻してもらいたい。（用途地域） ・ 道路の問題について、四谷の343号線について市としてどう取り組んでいくのか。今の計画では28m道路の計画であるが、都が行う工事であるが、市としてもサポートしてもらいたい。この道路ができることで地域住民の利害関係が対立しないか心配である。 ・ 農地が減っているのは、国の制度がそうなっている。三大都市圏は、農地を宅地や工場にきなさいという国の方針であるので仕方がない。市ができるのは「宅地化農地」に対する取組。宅地化農地には宅地並みの課税がなされているが、農家はいざという時のため宅地化農地にしている。しかしながら固定資産税が高いため、売らざるをえない状況である。この地区は、用水など農業環境が残っているので、保全してもらいたい。 ・ この地域の農地がどんどん宅地化している状況である。土地に対して良い人口というものはあると思う。緑と宅地のバランスの取れたまちづくりができると良いと考えている。 ・ 個人的には、府中市の西側は農地が多い。一方で工場が整備されており矛盾しているように感じている。 ・ 西友がこの秋にオープンすることに対して、市は防災協定を結ぶなどやるのがたくさんある。立川断層の問題も有る。6次ではなく、第5次の後期計画で対応すべきことがいろいろある。いろいろなことを考えて行政は動いてもらいたい。 ・ 日新まちづくりの会などとの連携などを進めてもらいたい。今からでも遅くないので、第5次の最後のまとめとして、6章に示されていることを実践してもらいたい。 ・ 私の住む準工業地域は、1500㎡以上の建物でなかったら説明会をする必要はないことになっている。業者は市の指導の下にやっていると、問題が生じてもどうしようもない状態である。問題があれば指導してもらいたい。 ・ 府中市は、税制のために準工業地域にしているが、地域市民のために対応してもらえていない。
<p>行財政 運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5次計画の時の内容を見ても、書類だけでは前の方が考えていたことが分からないことがあり、思いが途切れてしまっている感じを受けている。私としては、協議会に皆さんの意見を引き継いで行きたいと考えている。

そ
の
他

- ・はじめに確認したいことがある。地域別まちづくり方針について熱意を持って2年間かけて検討し、市長に提言したが、我々の意見のどこまでが具体化されたのか分らない。
- ・これまでの取組の反省がない中で新しいことに対して意見することなどできない。
- ・市は担当者が変わるが、きちんと引き継がれているのか。いずれにしても、何のために地域別まちづくり方針を検討・答申したのか分らない。
- ・まずはプロジェクターを用いるなどして説明すべきではないか。特に地域について絞って説明してもらいたい。
- ・まちづくり検討協議会は大きなエネルギーをかけて取り組み答申としてまとめたが、その結果が具体的な形でどのように市政に活かされたのかをフィードバックしてもらいたいと意見も付けたが、それが無いという焦燥感がある。
- ・本当に我々の意見が活かされていくのかという疑問がある。
- ・市民検討協議会もその都度募集しており、つながりが無い。少なくともまちづくり検討協議会の経験者を推薦して入れるなどができなかったのか。
- ・府中市の人口をどれくらいにするのかを考えていく必要がある。
- ・25万人以上であれば、指定都市になれると考えられ、指定都市になれば騒音に対する規制を行うことができると考える。住宅地は厳しい規制をかけるべきである。
- ・市民から上がったクレームに対する指導結果を公開する仕組みをつくってもらいたい。プライバシーなどを理由に公開できないなどの話が多すぎる。
- ・みなさんがどのような話をしているのかを思い意見を聞きたいと思い出席した。
- ・緑化と関連するが、公園について。宅地開発が行われる際に公園整備を行わないで済むぎりぎりの規模で開発が行われている。防災上危険である。
- ・ホームページの使い勝手が悪い。更新ボタンを押さないと、未だに野口市長の顔が表示される状況である。更新ボタンを理解できる高齢者は少ないのではないか。
- ・他にも市は細かい配慮ができていない。
- ・行政はいったん決めたことをなかなか変えない性質がある。府中市は、率先して時代にあった制度に見直してもらいたい。
- ・質問があるが、協働のパートナーのヒアリング先として、自治会を入れることはできないのか。